

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	倉敷市国民宿舎良寛荘
(2) 指定管理者	所在地 倉敷市中央1丁目1番44号 名称 株式会社倉敷国際ホテル 代表者 山口 勝正
(3) 公の施設の所管部署	倉敷市文化産業局文化観光部観光課
(4) 評価対象期間	令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

2 総合評価結果

(1) 市の評価	<p>指定管理期間を開始した令和4年度は「広報活動の実施状況」に重点を置き、評価を行った。</p> <p>指定管理の開始に合わせて「くらしき玉島国民宿舎良寛荘」に名称変更を行い、ホームページの整備やチラシのリニューアルを実施。様々な広報手段を用いて、新たな施設運営について積極的にPRする取り組みが見られた。</p> <p>また、自主事業として毎月第二日曜日に開催される玉島朝市への出店を継続して行うことで、(4月を除く全10回)、地元住民を中心とした来場者に対して、施設で提供する飲食の品質を効果的にPRしており、地域に根ざした施設運営を目指す姿勢が伺えた。</p> <p>宴会需要の回復の遅れから日帰り利用者数はコロナ禍前の水準に達しなかったものの(令和元年度比約86%)、宿泊者数に関しては、関西方面を中心に積極的な修学旅行誘致を展開し、コロナ禍前をやや上回る水準まで達することができた。(令和元年度比約105%)</p>	総合評価
	S	
(2) 指定管理者の自己評価	<p>全てのお客様が「安全・安心」に施設をご利用いただく事が出来るように、より良い集いの場としてお役に立てるよう地域社会の振興発展を目指し、1年間運営いたしました。</p> <p>宿泊部門については、旅行支援の恩恵もあり、来荘者数はコロナ前に近い水準で推移しました。</p> <p>日帰り関係は、レストラン営業については多くのお客様から「料理が美味しい」との評を頂くことができ、ご利用客はコロ</p>	

	<p>ナ前を上回る結果となりました。</p> <p>入浴については常連客の他、新規一般客の利用もありコロナ前と同じ水準まで回復しました。</p> <p>宴会利用に関しては、業績回復にはまだまだほど遠く、感染拡大前と比べて利用客は4割程度に留まり、苦戦を強いられた結果となりました。新型コロナウイルスが5類へと分類されたことで今後の需要回復を期待したい。</p> <p>その他、修学旅行については、コロナ禍での良寛荘の取組みに関して学校様から多くの支持を頂くことが出来、前年実績とほぼ同数の（学校数）を誘致する事が出来ました。</p> <p>次年度の取組みとしては、地域との連携した企画や良寛荘の立地を生かした新しいプランを企画して行きたい。</p>
(3) アンケート結果の概要	<p>「全体の満足度」は97%の満足度（満足・ほぼ満足）が得られており、高い水準を維持している。また、項目ごとに見ても、「職員の対応」「施設の清潔感」「安全対策」の満足度はいずれも94%以上の満足度が得られており、質の高いサービスが提供できていることが伺える。</p>

3 施設の利用状況

(1) 利用実績	<p>国民宿舎良寛荘宿泊者数</p> <p>令和4年度 令和3年度</p> <p>12,718人 7,618人（前年度比166.9%）</p> <p>国民宿舎良寛荘日帰人数</p> <p>令和4年度 令和3年度</p> <p>18,772人 6,321人（前年度比296.9%）</p>
(2) 事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有料施設（宿泊施設、休憩施設、貸室及び結婚式場）の利用の承認に関する業務 ・ 国民宿舎の維持管理に関する業務

4 収支

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額	184,405千円
	利用料金	148,041千円
	指定管理料(委託料)	36,364千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額	198,744千円
	主な支出	
	人件費	74,087千円
	材料費	46,931千円
	光熱水費	22,963千円
	消耗品費	8,417千円
	通信運搬費	219千円
	広告宣伝費	587千円
	修繕料	1,539千円
	保守点検業務委託費	7,426千円
	自動ドア・エレベーター保守点検	708千円
	クリーニング代	3,175千円
	保険料	1,002千円
	賃借料	303千円
	レンタル料	1,111千円
	支払手数料	7,968千円
	公租公課	1,317千円
減価償却費	351千円	
販売管理費	4,274千円	
その他経費	16,366千円	